

オーバルネクストETF情報

2013年1月28日号



TEL 03(5641)5777

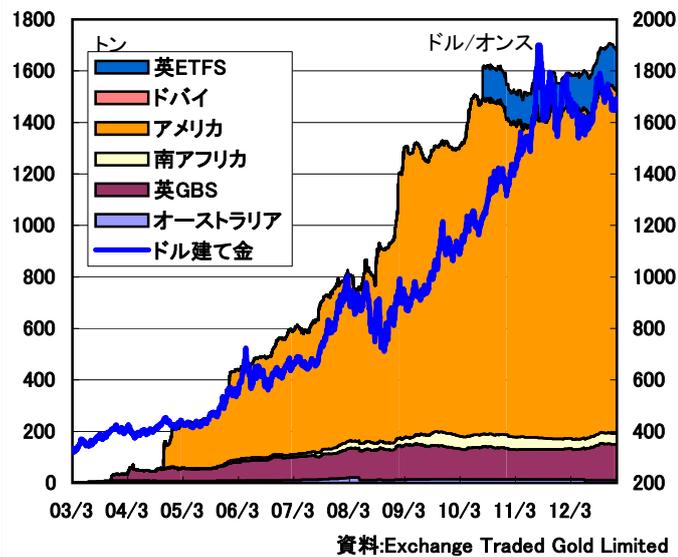
(株) オーバルネクスト
〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 7-2

弊社ホームページで本レポートを無料公開中
<http://www.ovalnext.co.jp/>

 **Oval Next Corp.**

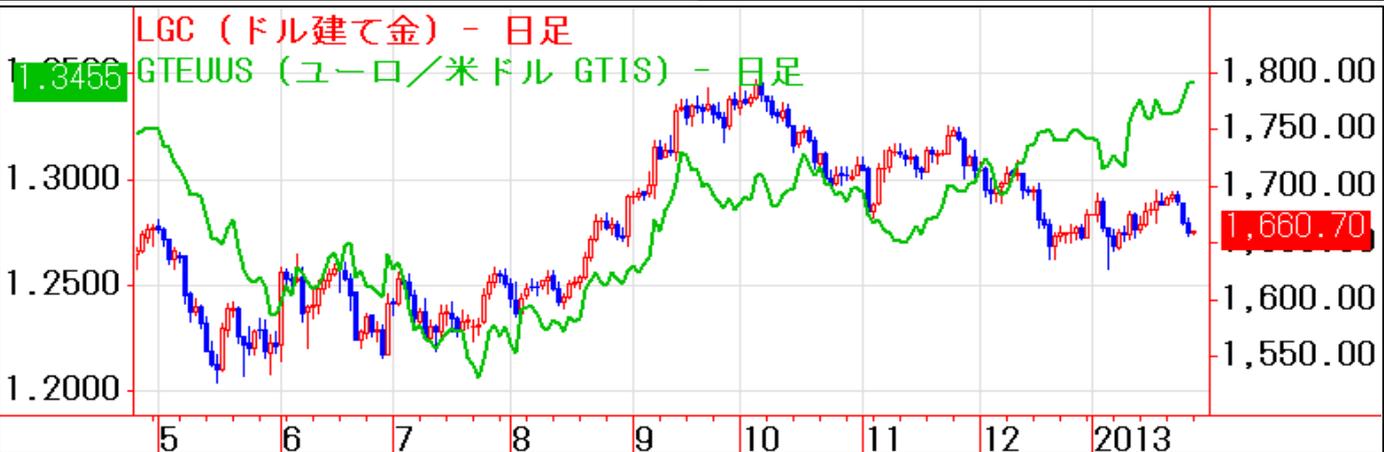
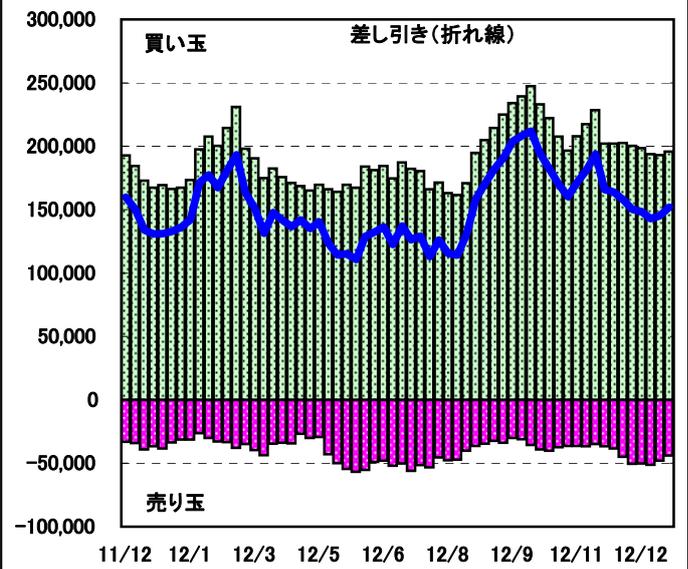
ETF残高は減少、先物買いは拡大

●金ETFの現物保有高



●大口投機家の取組=CFTC・NY金

単位: 枚



■金はETFから投資資金の流出が続く

米商品先物取引委員会(CFTC)の建玉明細報告によると、1月22日時点のニューヨーク金の大口投機家の買い越しは15万1,897枚となり、前週の14万5,116枚から拡大した。今回は新規買いが2,840枚、買い戻しが3,941枚入り、買い越しを6,781枚拡大した。25日のニューヨークの金ETF(上場投信)の現物保有高は前週末比2.71トン減の1329.90トンとなった。各国の経済指標改善で景気回復期待が高まり、HSBCがポートフォリオ組替で金の比率を低下させたことなどを背景に投資資金が流出した。

ドル建て現物相場は2011年9月5日、史上最高値1920.25ドルを付けた。その後は欧州の債務問題などを背景に株価が急落し、リスク回避の動きが上値を抑える要因になった。ただ米連邦公開市場委員会(FOMC)声明で、超低金利政策の長期化見通しが示されたことや、量的緩和第3弾(QE3)決定などが下支え要因になった。2012年は1527.15~1795.65ドルで推移した。

前週は、リスク選好の動きに支援される場面も見られたが、景気回復期待の高まりなどを背景に戻りを売られた。米下院が債務上限を4カ月間引き上げる法案を可決し、景気の先行き懸念が後退した。今週は米雇用統計などで労働市場の動向を確認したい。

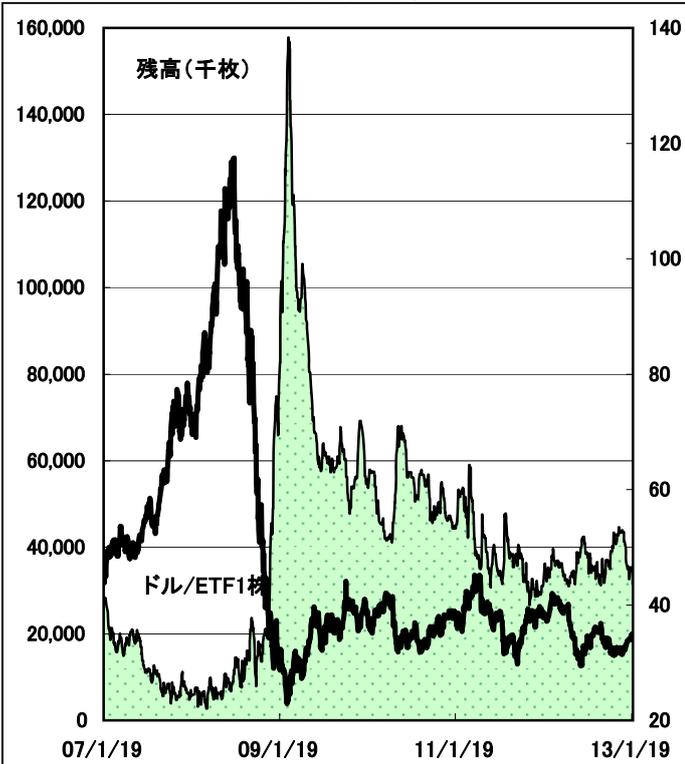
(オーバルネクスト 東海林勇行/1月28日記)

<免責事項>

オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。

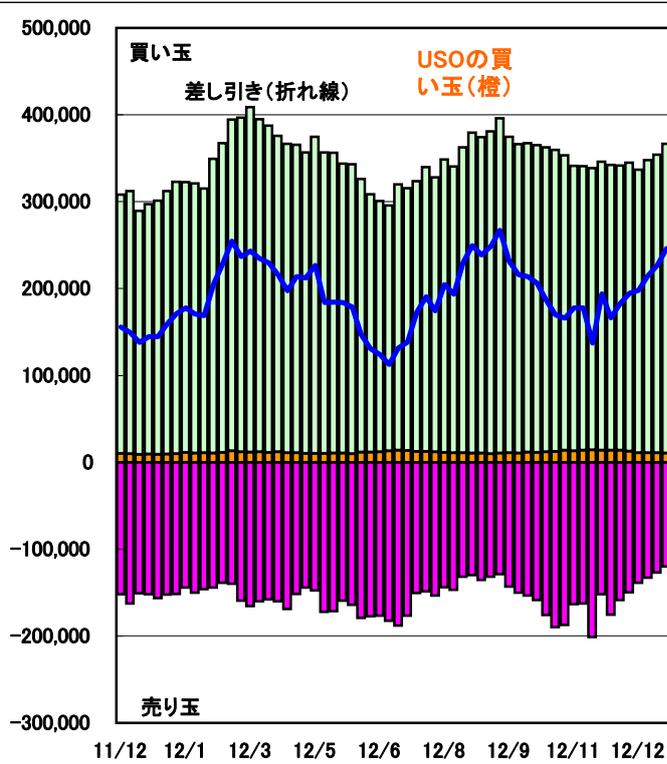
ETF残高は減少、先物買いは拡大

●原油ETF(USO)の価格と残高



●大口投機家とUSOの取組

単位:枚



■最近の動向と材料

ニューヨーク証券取引所(NYSE)で取引されている原油ETF(コード:USO)の残高は1月25日時点で3,140万株となり、前週末比330万株減少した。ニューヨーク原油は、好調な経済指標などを受けて堅調となり、昨年9月以来の高値96.92ドルを付けた。USOが先物市場につないでいる原油の買い玉は25日時点でニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)で9,370枚(同1,196枚減)、インターコンチネンタル取引所(ICE)で2,000枚(同変わらず)となった。

米商品先物取引委員会(CFTC)建玉明細報告によると、1月22日時点のニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)の原油の大口投機家の買い玉は36万6,484枚(前週35万4,130枚)、売り玉は12万0,381枚(同12万7,379枚)で24万6,103枚買い越しとなり、前週の22万6,751枚買い越しから、1万9,352枚買い越し幅を拡大した。USOの買い玉は大口投機家の2.9%(同3.1%)を占めている。インターコンチネンタル取引所(ICE)のWTI原油の大口投機家の取組は、買い玉が7万1,949枚(同7万2,939枚)、売り玉は4万9,674枚(同5万1,587枚)で2万2,275枚買い越し(同2万1,352枚買い越し)に拡大した。USOの買い玉は大口投機家の2.8%(同2.7%)を占めている。

【原油ETF残高と先物ポジション】

	United States Oil Fund, LP			先物ポジション			
	終値	出来高	残高	NYMEX	Financial Future	ICE	限月
13/1/18	34.77	3,997,469	34,700	10,566		2,000	3/13
13/1/22	35.01	3,905,537	34,700	10,566		2,000	3/13
13/1/23	34.61	6,120,965	35,200	10,747		2,000	3/13
13/1/24	34.76	4,813,562	31,400	9,370		2,000	3/13
13/1/25	34.76	3,770,661	31,400	9,370		2,000	3/13

単位:残高は千株

資料:NYSE、USO

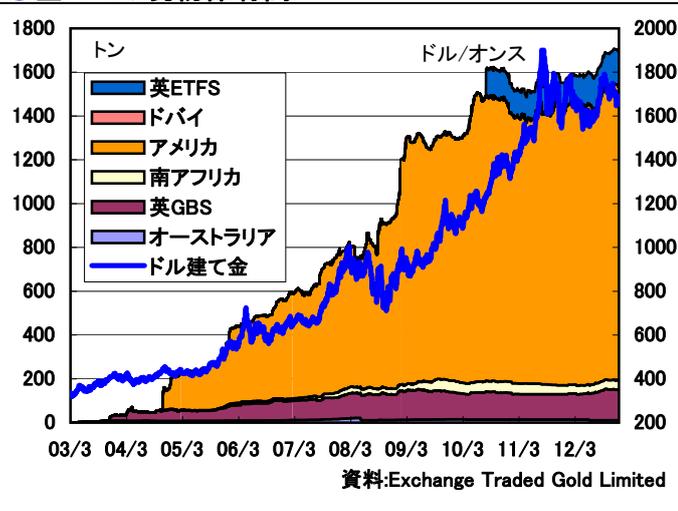
(オーバルネクスト 東海林勇行/1月28日記)

<免責事項>

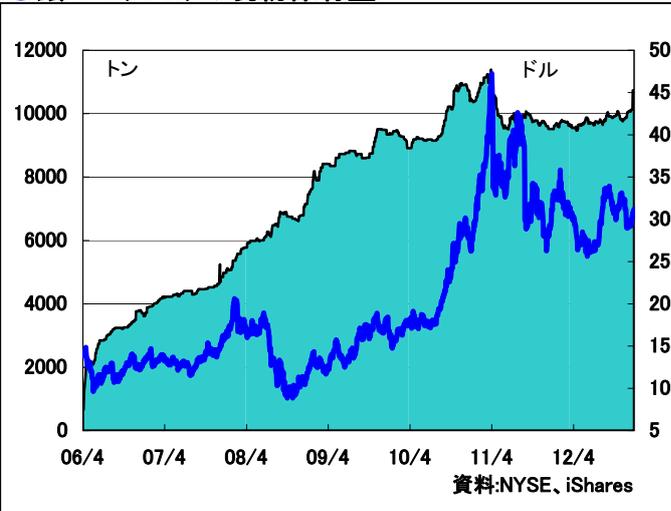
オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。

金ETFの現物保有高は小幅増

●金ETFの現物保有高



●銀ETF(SLV)の現物保有量



■最近の動向と材料

世界12カ国に上場している金ETF(上場投資信託)の現物保有高は、1月23日時点で1682.92トンとなり、前週末比0.16トン増加した。米国で1.51トン増加したが、英GBSで0.43トン、英ETFsで0.92トン減少し、増加幅は小幅となった。連休明けの米国で3.31トン増加したが、翌日には1.80トン減少し、投資資金流出に対する警戒感が残る。

ニューヨーク証券取引所(NYSE)の銀ETF(コード:SLV)の現物保有量は前週末比45.13トン減の1万0689.86トンとなった。ETFセキュリティーズの銀ETFの現物保有量は、ロンドン(コード:PHAG)が同変わらずの891.26トン、ニューヨーク(コード:SIVR)が同変わらずの575.65トンとなった。

【金ETF現物保有量詳細】

	豪州	英GBS	英ETFs	南ア	米国	ドバイ	合計	金現物相場
13/01/17	11.16	137.98	158.16	42.45	1332.61	0.00	1682.36	1,686.80
13/01/18	11.16	138.21	158.33	42.45	1332.61	0.00	1682.76	1,683.65
13/01/21	11.16	137.79	158.21	42.45	1332.61	0.00	1682.22	1,690.15
13/01/22	11.16	137.78	157.53	42.45	1335.92	0.00	1684.84	1,691.98
13/01/23	11.16	137.78	157.41	42.45	1334.12	0.00	1682.92	1,684.70

単位:トン、現物相場はドル/オンス

注:他の金ETFはIshare TRUST GOLD(23日現物保有は219.58トン)、米ETFセキュリティーズ(23日35.91トン)など。

資料: Exchange Traded Gold Limited

【銀ETF(NYSE:コードSLV)】

	銀ETF価格	出来高	現物保有量
13/01/16	30.45	7,381,237	10,163.4
13/01/17	30.67	16,075,807	10,735.0
13/01/18	30.81	9,875,544	10,735.0
13/01/22	31.12	9,271,915	10,735.0
13/01/23	31.19	9,839,166	10,689.9

単位:価格はドル/ETF、現物保有量はトン

資料: NYSE, iShares

注:他の銀ETFはETFセキュリティーズ(ロンドン 23日891.26トン、NY 23日575.65トン)。

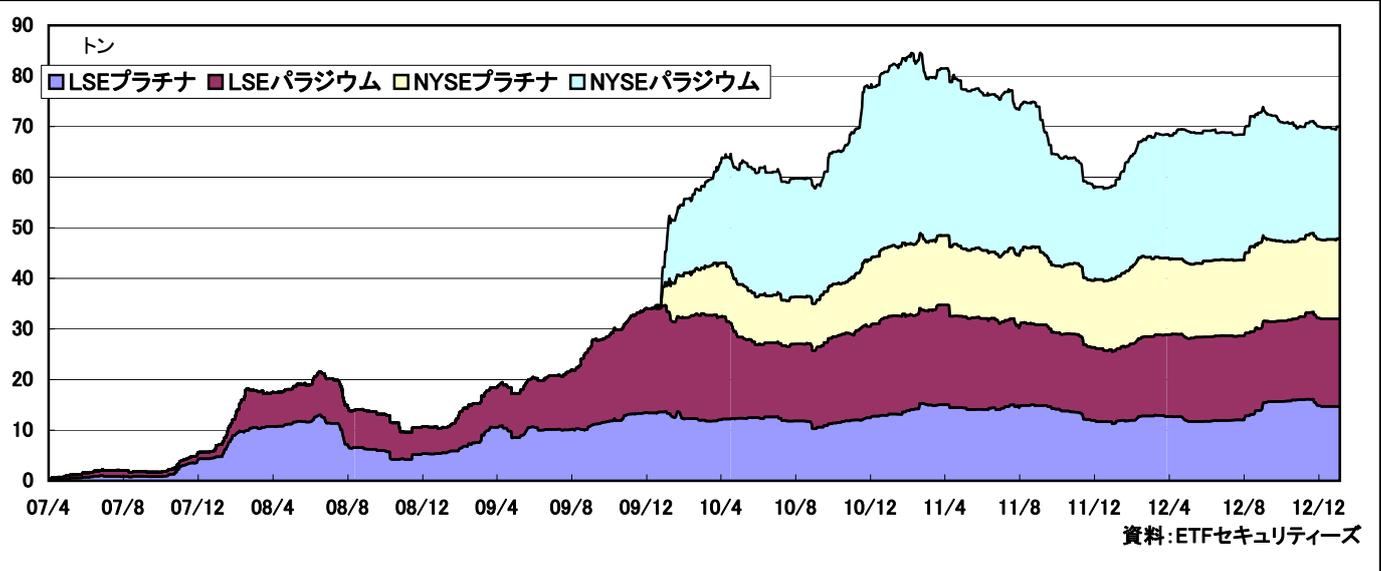
(オーバルネクスト 東海林勇行/1月24日記)

<免責事項>

オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。

プラチナ強気もETFは様子見

●PGMのETF現物保有高



■最近の動向と材料

ロンドン証券取引所(LSE)に上場しているプラチナ・パラジウムのETFの現物保有量(メタルセキュリティーズ分)は23日時点でプラチナが14.72トン、パラジウムが17.26トンとなり、前週末比でプラチナ、パラジウムともに変わらずとなった。一方、ニューヨーク証券取引所(NYSE)のプラチナ・パラジウムETFの現物保有高は23日時点でそれぞれ15.88トン、22.15トンとなり、前週末比でプラチナ、パラジウムともに変わらずとなった。

南アの鉱山会社アングロ・アメリカン・プラチナム(アンプラッツ)の再建計画に鉱山閉鎖などが盛り込まれ、供給不安が高まったことが支援要因だが、雇用削減などで南ア鉱山当局と協議することとなり、利食い売りに上値を抑えられた。一方、各国の経済指標改善などで景気回復期待が高まっており、工業用需要の増加期待が高まるようなら、投資資金流入につながる可能性もある。

【ETFセキュリティーズ】

	ロンドン証券取引所(LSE)				NY証券取引所(NYSE)	
	プラチナ	パラジウム	銀	金	プラチナ	パラジウム
13/01/17	14.72	17.26	891.26	170.28	15.58	21.84
13/01/18	14.72	17.26	891.26	170.28	15.88	22.15
13/01/21	14.72	17.26	891.26	170.28	15.88	22.15
13/01/22	14.72	17.26	891.26	170.28	15.88	22.15
13/01/23	14.72	17.26	891.26	170.28	15.88	22.15

単位:トン

資料:ETFセキュリティーズ

(オーバルネクスト 東海林勇行/1月24日記)

<免責事項>

オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。